

令和3年度農林水産技術会議開催結果

農業技術センター

開催日	令和4年2月24日	開催場所	農業技術センター（Web開催）
部会名	研究成果評価部会		
評価課題	イチゴ新品種‘かなこまち’の育成		
評価委員	公益社団法人園芸植物育種研究所 研究開発部長 神奈川県いちご組合連合会 会員		
評価概要	<p>1 品種の特徴について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務者は実証試験を実施しており、市場、消費者等にも試食提供している。市場等からも食味の良さを評価されている。</li> <li>・収穫開始時期が12月中旬とやや遅いため、今後は早出し技術に取り組むことへの要望が出された。</li> <li>・今後の普及拡大に向けた高品質安定生産技術として、経済的に最適な栽植密度の検討、出荷基準の作成、葉の黄化や細長果の対策等が挙げられた。</li> </ul> <p>2 品種の維持、保存について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イチゴ苗の維持・管理では、株の変異が問題となる。県の組織では、長く同じ人が増殖配布を担当できないため、実施許諾先への親苗の配布をどの様に責任を持って進めていくのかが、非常に重要である。また、ウイルス検定ができる体制が必要である。</li> </ul> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次のイチゴの育種目標として、現在、多くの研究機関が目標とする多収、耐病、高品質から、将来の生産者を見据えて、省力や省エネ（他のエネルギー源を活用）を視点に品種育成することも必要である。</li> </ul>		